

ノイテレビ推進 親子関係深めて

テレビにお休みキャンペーン」と題して、テレビの視聴時間を減らし親子で過ごす時間を増やす活動に取り組む。

親子関係を深めることを目的に、沼津市私立幼稚園協会（会長・武田義正耕雲寺幼稚園園長）は今月から毎月15日に「テ

沼津の23私立幼稚園

同協会に所属する市内二十三私立幼稚園の園児約四千人が対象。今月から一年間、十五日を「ノイテレビデー」として、親子で何をしたかをカードに記録し、提出してもらう。親子のきずなづくりに不安を感じていた同協会の関係者が、半年前から

今月から毎月15日 保護者に呼び掛け

企画を進めてきた。

合言葉は「おやこんぼ」。「おやこ」と小編成のジャズ楽団を意味する「コンボ」を組み合わせた造語で、親子で楽しむという意味を含めた。東京都のイベント企画会社の協力を受けてキャラクターを作り、九日には同

市原の原町幼稚園で職員が園児向けの人形劇を披露。園児を楽

しませながら「テレビくんを疲れさせていないかな」「テレビくんを休ませて両親に遊んでもらおう」と伝えた。

各園は保護者に「ノイテレビデー」にテレビに掛けるオリジナルのパンタナと、記録カードを配布し、協力と呼び掛ける。

「こうした試みはこれまで聞いたことがない」と話し、「両親と触れ合い、愛されていると感じることが重要な時期。保護者がテレビに頼らず、子どもと真剣に向き合う意識が高まるきっかけになる」と期待する。



「ノイテレビデー」にテレビに掛けるオリジナルのパンタナー沼津市内の幼稚園